

マキサカルシトール軟膏25 μ g/g「イワキ」 をご使用される患者さまへ

使用回数と使用量

- 通常、1日2回適量を患部に塗ります。症状により回数を減らす指示が出ることがあります。必ず指示された使用方法に従ってください。
- 1日の使用量が10gを超えないよう注意してください。[同じ成分の他の剤形(例:ローション)の薬を同時に使う場合は、同じ成分の他の剤形の薬と軟膏剤で合計して10gまでです。]

あなたのご使用方法(医師・薬剤師記入欄)

マキサカルシトール軟膏25 μ g/g「イワキ」の使用量の目安

1日の使用量の上限はチューブ1本分です。(10g)

チューブから使う場合

一般的に、外用剤を大人の両方の手のひらの面積に塗る最適な量は約0.5gです。

右のイラストはチューブから0.5gを絞り出す目安です。



マキサカルシトール軟膏と、「同じ成分の他の剤形(例:ローション)の薬」を同時に使う場合の1日の使用量

マキサカルシトール軟膏25 μ g/g「イワキ」

g



同じ成分の他の剤形(例:ローション)の薬

g

塗る時の注意

- 指示のあった部分にのみ使い、正常な皮膚や粘膜部に使わないでください。
- 目にはいらないように注意してください。
- 薬を塗った後は手をよく洗ってください。薬のついた手で傷口などにさわらないようにしてください。

このような場合は、医師または薬剤師にお知らせください。

- 他の病院で治療を受けている。
(別の病気でも、皮膚科以外の診療科でもすべて)
- 他に使っている薬がある。
(診察を受けて処方される薬、薬局で買った一般用医薬品のどちらも)
- 健康補助食品(サプリメント)を使っている。
- 腎臓の病気、または腎機能の低下がある。またはなったことがある。
- 高カルシウム血症がある。またはなったことがある。
- 骨粗しょう症がある。またはなったことがある。
- 今まで薬を使って、かゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- 妊娠または妊娠している可能性がある。授乳中である。



薬を使用してこんな症状が出たら、(ひとつでも)

薬の使用をやめて、すぐに医師または薬剤師にお知らせください。

- 食欲がない。
- 喉や口が渇く。
- 頭痛やめまいがする。
- かゆみが増す。
- 体がだるい。
- 吐き気がする。
- 尿が減少する。
- 刺激感が増す。
- 体がしびれる。
- お腹が痛い。
- 体がむくむ。
- 皮膚が赤くなる。
- その他、薬を使い始めてからいつもと違う感じが続く。

その他の注意

- 自分では気がつかない副作用を防ぐ為に、定期的に検査を行います。
医師の指示に従って検査を受けてください。(血液中のカルシウム濃度や腎機能など)
- 使い忘れた場合は気がついた時できるだけ早く1回分を塗ってください。
絶対に2回分を一度に塗ってはいけません。
- 誤って多く塗った場合および誤って内服した場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに自分の判断で使うのをやめないでください。

薬の保管について

- 乳幼児、小児の手の届かないところで保管してください。
- キャップをきちんとしめ、直射日光・高温・高湿度を避け室温で保管してください。
- 薬が残った場合、廃棄してください。この薬を他の人にあげないでください。

(連絡先等 記入欄)